



# 歴史と伝統

追手前高校のおこりは、県庁(西弘小路)内に設置された陶冶学舎のなかに「中学校に準ずるもの」として置かれた変則中学校にあります。その後、明治9年10月11日に高知県師範学校附属変則中学校と改称され、明治11年11月19日には高知中学校として独立しました。この日が追手前高校の創立記念日となります。追手前高校の歴史は、次の6期にまたがっています。

- |   |                  |               |
|---|------------------|---------------|
| 1 | 明治11年11月～明治19年9月 | 高知中学校         |
| 2 | 明治19年9月～明治32年3月  | 高知県尋常中学校      |
| 3 | 明治32年4月～大正11年3月  | 高知県及び第一中学校    |
| 4 | 大正11年4月～昭和23年3月  | 高知県立高知城東中学校   |
| 5 | 昭和23年4月～昭和24年8月  | 高知県立高知新制高等学校  |
| 6 | 昭和24年8月～現在       | 高知県立高知追手前高等学校 |

このように追手前高校は長年の光輝ある歴史と伝統を持ち、卒業生は37,548名、教育・政治・経済学の各界はもちろん芸能・スポーツ界等あらゆる分野にわたって活躍しており、後進のための大いなる道しるべとなっています。



本館1階 中央階段付近



終戦時校舎(昭和20年)

## 校章



校章は昭和24(1949)年12月に制定されました。追手前高校の前身である高知県尋常中学校・第一中学校・城東中学校時代の、中学校の「中」の字を図案化した六稜星(「中」の字のなかに相対する一組の新月を配したものを)、本校のシンボルである銀杏6枚におきかえて、なかに「高」の字を配したものです。(制作・昭和24年度卒 金澤弥三平)



高知県立第一中学校、高知城東中学校時代の校旗と現在の校旗